事務局ニュース08-NO.04　2008. 9. 19　埼玉県学童保育連絡協議会
〒 330-0854　さいたま市大宮区桜木町４－１００５
TEL048-644-1571　FAX 048-644-1572
http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/　　Eメール gakudoust@yahoo.co.jp
【郵便振替】00160-7-93727　埼玉県学童保育連絡協議会

①県との話し合いは11月13日（木）参加お願いします
②大規模の分割新設を市町村へはたらきかけましょう

■　報　告　事　項

１．埼玉県庁・少子政策課の動き

＊平成20年度放課後児童指導員研修会（第36回学童保育指導員学校）が通知されました

11月９日（日）　於埼玉県立大学　　主催＝埼玉県、さいたま市、埼玉県連協

９月16日付けで市町村へ要項（チラシ）が送られています。市町村を通じて申し込む形となっていますので、ご参加下さい。この研修会は、元々は県連協主催の「県学童保育指導員学校」として実施されていましたが、1998年度から、厚生労働省の研修費補助も活用して、県と県連協とで共催の形で実施されています（2005年度からさいたま市も共催）。

２．文部科学省　2009年度「放課後子ども教室推進事業」概算要求は85,500万円減（※別紙･ｼﾛ）

	07年度概算	07年度予算	07年度実績	08年度概算	08年度予算	09年度概算
総額	137.6億	68.2億		99.2億	77.6億	69.1億
箇所数	20,000	10,000	5,707校区	15,000	15,000	15,000

2007年度から、「放課後子どもプラン」の枠組みの中で「放課後児童クラブ」と「一体的あるいは連携して実施する」ものとして文部科学省が創設した「放課後子ども教室」でした。上の表は同事業誕生以降の、「概算要求」と「予算」の推移ですが、今年度費で85,500万円減、概算要求では2007年度と比べて約半減となっています。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/09/08082905/004.pdf

３，障害児学童制度化署名の国会提出について

９月１日、福田首相の突然の辞任に伴い、マスコミ等を通じて、10月の臨時国会開会後、早期解散という情報が伝えられています。当初、今国会に対して「障害児の放課後活動制度化」請願をの提出する予定でいましたが、国会が解散されると「請願は審議未了・廃案」ということになります。そこで、署名団体である全国放課後連（障害のある子どもの放課後保障全国連絡会）としては、**国会解散・総選挙後の「特別国会」ないし１月開会の「通常国会」に向けてとりくむ可能性が大きいと判断**しています。署名は引き続き集めて下さるようお願いします。

４，埼玉県学童保育連絡協議会のとりくみ

（１）公明党県議団と「意見交換会」　９月４日　於県議会内

県議7名が出席、県連協から薄井会長以下６人が出席しました。

冒頭、県連協側から、昨年10月１日の県議会質問（障害児学童保育の特別支援学校内への設置）についてのお礼とその後の報告を行いました。続けて、学童保育が当面している課題・問題について、①大規模の分離増設②指導員の定着、労働条件の問題③指定管理者制度は学童保育になじまない④障害児学童保育の施策改善、国の制度化の必要　の４点に絞って報告しました。

県議団からは、①指導員の労働条件について「国が『単に子どもを預かっているだけ』という認識が問題」　②「障害児学童保育はさらに推進すべき」　③「大規模解消のために『間仕切り』も含めて県に要望したい」などの発言がありました。

（２）第２回県連協代表委員会を開催9月13日（土）　於さいたま市・埼玉労働会館

出席者＝14市26人

□報告　①厚生労働省2009年度概算要求　②他

□討議　①地域の動きの交流　②2009年度県予算要望書　③大規模学童保育の分離増設のとりくみ　④障害児学童保育制度化・県議会請願のとりくみ

（３）第24回合宿研究会を開催　9月13～14日　於さいたま市・埼玉労働会館

参加者＝29市町168人

【テーマ】保護者会・父母会と地域連絡協議会組織を元気に！

１日目はテーマにもとづいて、①所沢市安松学童クラブ父母会　②新座市学童保育の会　③東京都文京区の父母会・連絡協議会　より報告をいただきました。

２日目は、以下の４つの分科会を行いました。

①大規模学童保育の分離増設　②「指定管理者制度」　③「倫理綱領」＋指導員会づくり　④全体会のテーマをさらに深める

（４）『日本の学童ほいく』誌特別還元金を地域へお送りします

昨年度に続いて、『日本の学童ほいく』誌をご購読いただいている地域・学童保育へ特別還元金をお渡しします。７月号の平均部数にもとづいて全国連協から県連協へ一括して送付されて、その中から地域の還元金を本誌の取りまとめ先に、10月中に送らせていただきます。地域連協・学童保育の活動にご活用下さい。

お知らせ・お願い

１，大規模問題のはたらきかけを強めましょう！

前号の『事務局ニュース08-№３』でお知らせしたように、大規模解消問題は、今年度、特にこの秋の運動が決定的に重要です。

県連協としては、当面、以下のようにとりくみを計画しています。

１．すべての市町村に**大規模問題についてのアンケート調査**を行いました。集計した結果を市町村と父母会、地域連協にお返しします。
２．**10月初旬に**　市町村の動き、地域連の分割増設の具体的とりくみ等をまとめて**提言「大規模問題の解決をめざして～分割新設による適正規模の実現を」（仮称）**を内外に発表します
３．**11月13日（於埼玉教育会館）**　県との話し合いにおいて、大規模分割を重点要求として学童保育を単独で建てる場合の補助**「児童厚生施設等整備費」の予算化を要求**します。

（１）「大規模問題」アンケート集計結果をお届けします（※別紙･ﾌﾞﾙｰ）

県内70市町村すべてから「大規模問題についての調査」の回答が届きました。別添のように集計しました。この調査結果は同時に、市町村にもお返ししています。自分の市町村の回答を確かめて、運動に役立てて下さい。

ご覧のように、71人以上のクラブのある市町村の37市町のうち27市町（約4分１）が「分離増設計画がある」と回答しています。具体的に「独立施設を増設」（15市町)、「学校余裕教室を活用」（10市町）などの計画を明らかにしています。「分離増設計画のない」自治体に対しては至急、計画を持つようにはたらきかける必要があります。また、計画のある自治体でも、H市のように「既設の学童保育の園庭に増設する」（※学童保育の会の話）という自治体もあり、この回答と実態を比較して、必要なはたらきかけを行う必要もあります。

（２）「大規模問題は待ったなし！」チラシを活用しましょう

（※別紙･ﾗｲﾄﾋﾟﾝｸ　１クラブ５枚添付しました）

また、地域連絡協議会や父母会などに関心を持っていただくために、「大規模問題は待ったなし！2008年度中に市町村に方針を持たせよう！」チラシを作成しました。父母会や地域連協、指導員会などの話し合いなどでご活用下さい。県連協ＨＰにも掲載します。

２，来年度県予算要望に関わるとりくみのお願い

（１）11月13日（木）の県との話し合いにすべてのクラブからご参加下さい

９：15集合　於埼玉教育会館（※「浦和駅」西口下車、徒歩10分）

※追って、全世帯ニュース『さいたまの学童ほいく』をお送りします。

（２）【再度】「一人ひとりの声」を至急送ってください！

県との話し合いの資料として活用します。項目毎にまとめて「要望集」を作成する予定ですので、**今月末までに送って下さい**。

（３）知事へ陳情署名、県議会へ「障害児放課後事業（障害児学童保育）の国での制度化」署名にご協力下さい

今年も知事に対して直接要望を届ける陳情署名にとりくみます。過去10回の署名は知事（ないし副知事）に直接手渡すことができ、施策改善につながる大きな力になりました。今年は、併せて、にもとりくみます。　※全世帯ニュースと併せて、追ってお送りします。

（４）地元選出の県議会議員と懇談しましょう！

県への要望内容について当該地域の県議さんと懇談の場を設けてください。県施策改善のためという意味もありますが、地域の学童保育の支援に確実に役立つものです。組織のあるすべての地域で話し合いとりくんで下さい。※懇談報告用紙を追ってお送りします。

（５）市町村に対する要望にも県施策改善を入れてください

地域連協等でも来年度予算要望の時期です。その要望書の中に「県に対して現行施策の改善を要望する」趣旨の要望を入れて下さい。※要望書は、追ってお送りします。

３，障害児学童保育（障害児放課後活動事業）の制度化を求める国会請願のとりくみ

（１）障害児学童保育（障害児放課後活動事業）の制度化を求める国会請願署名をお送り下さい　※国会への提出については、「報告事項３」参照

（２）追加で、障害児学童保育制度化・県議会請願にとりくみます

９月の代表委員会で、県議会に対して、「国に対して障害児学童保育事業の制度化を求める意見書」提出の請願行動を行うことを決めました。先行してお願いしている国会請願署名とは別に、県（議会）から政府に対して制度化をプッシュするものです。※署名用紙は追ってお送りします

４，県連協・全国連協　行事のお知らせ

□第43回全国学童保育研究集会　10月４日（土）～５日（日）　於北海道
□実践交流会プレ学習会①「実践記録とは」９月24日（水）　於さいたま市産業文化センター
□第36回県指導員学校（平成20年度放課後児童指導員研修会）11月９日（日）於埼玉県立大学
□2009年度予算等についての県との話し合い　11月13日（木）　於埼玉教育会館
□第８回集中講座・障害児の生活づくり１日目　12月14日（日）　於埼玉県県民活動総合ｾﾝﾀｰ
□実践交流会プレ学習会②「実践ﾚﾎﾟｰﾄ公開模擬討論」１月21日（水）於さいたま市産業文化ｾﾝﾀｰ
□第30回県実践交流会　３月１日（日）　於嵐山・国立女性教育会館